

■コメント

1 新型コロナウイルス感染症

第25週に、55件の報告があり減少が続いています。全国的に人流が増加傾向になっており、新規感染者数が横ばいから増加に転じる動きが見られる地域もあります。変異株は、今後、アルファ株(英国で最初に検出された変異株)よりも感染性が高いとされるデルタ株(インドで最初に検出された変異株)への置き換わりが進むと予測されています。リバウンドを起こさないため、感染拡大防止対策を徹底しましょう。

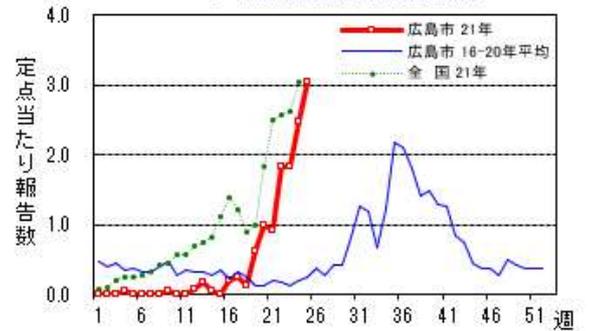
【参考】第40回新型コロナウイルス感染症対策アドバイザリーボード(令和3年6月23日)(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00256.html

2 RSウイルス感染症

定点当たり3.04人の報告があり、増加が続いています。症状としては、軽い風邪様の症状から重い肺炎まで様々ですが、特に生後数カ月までの乳児が初感染した場合は重症化しやすいといわれています。咳等の呼吸器症状がある人との接触を避け、おもちゃや手すりの消毒、手洗いの励行に努めましょう。

【参考】RSウイルス感染症Q&A(厚生労働省)
https://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekkaku-kansenshou19/rs_qa.html

RSウイルス感染症の流行状況



■定点把握感染症報告状況(週報対象)

定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号	定点種別	疾患名	報告数	定点当たり	平均(注)	過去5年間	発生記号
小児科	インフルエンザ	-	-	-	-		小児科	流行性耳下腺炎	4	0.17	0.29		
小児科	咽頭結膜熱	16	0.67	0.68			眼科	RSウイルス感染症	73	3.04	0.26		
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	10	0.42	2.61				急性出血性結膜炎	-	-	-		
	感染性胃腸炎	62	2.58	5.36			基幹	流行性角結膜炎	1	0.13	0.88		
	水痘	2	0.08	0.31				細菌性髄膜炎	-	-	-		
	手足口病	-	-	2.83				無菌性髄膜炎	-	-	-		
	伝染性紅斑	1	0.04	0.42				マイコプラズマ肺炎	-	-	0.09		
	突発性発しん	8	0.33	0.51				クラミジア肺炎(オウム病を除く)	-	-	-		
ヘルパンギーナ	3	0.13	1.26			感染性胃腸炎(ロタウイルス)	-	-	0.11				

急増減	↑	↓	前週と比較しておおむね1:2以上の増減
増減	↗	↘	前週と比較しておおむね1:1.5~2の増減
微増減	↔	↔	前週と比較しておおむね1:1.1~1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

報告数が少数の場合などは、発生記号を記載していません。

インフルエンザ定点数(小児科定点を含む)	37
小児科定点数	24
眼科定点数	8
基幹定点数	7

(注) 過去5年間の同時期平均(定点当たり)

■全数把握感染症報告状況(新型コロナウイルス感染症を除く)

類型	疾患名	報告数	累計	備考
2	結核	1	50	20歳代
3	腸管出血性大腸菌感染症	2	9	10歳未満・O157、40歳代・O26
4	レジオネラ症	2	19	40歳代、70歳代
5	梅毒	1	29	10歳代
5	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	1	10	70歳代

■定点把握感染症報告状況(週報対象)の推移

報告数	広島市	第21週	第22週	第23週	第24週	第25週	感染症															
							インフルエンザ	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	RSウイルス感染症	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎
報告数	広島市	第21週	-	4	17	156	6	-	1	8	-	1	22	-	1	-	-	-	-	-	-	-
		第22週	-	17	12	132	3	2	-	12	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第23週	-	14	5	104	6	2	-	9	1	-	44	-	2	-	-	-	-	-	-	-
		第24週	-	13	8	78	1	1	-	11	-	2	59	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第25週	-	16	10	62	2	-	1	8	3	4	73	-	1	-	-	-	-	-	-	-
定点当たり	広島市	第21週	-	0.17	0.71	6.50	0.25	-	0.04	0.33	-	0.04	0.92	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
		第22週	-	0.71	0.50	5.50	0.13	0.08	-	0.50	-	0.04	1.83	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第23週	-	0.58	0.21	4.33	0.25	0.08	-	0.38	0.04	-	1.83	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-
		第24週	-	0.54	0.33	3.25	0.04	0.04	-	0.46	-	0.08	2.46	-	-	-	-	-	-	-	-	-
		第25週	-	0.67	0.42	2.58	0.08	-	0.04	0.33	0.13	0.17	3.04	-	0.13	-	-	-	-	-	-	-
全国	第23週	-	0.40	0.61	3.31	0.12	0.11	0.02	0.44	0.11	0.05	2.62	-	0.20	0.01	0.01	0.03	-	-	-	-	
	第24週	-	0.43	0.59	3.23	0.11	0.12	0.01	0.43	0.11	0.06	3.05	-	0.20	0.01	0.02	0.04	-	-	-	-	

■広島市における新型コロナウイルス感染症の発生状況(確定日で集計)

【第25週(6月21日～6月27日)】

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
2	-	5	8	8	7	8	10	7	-	55

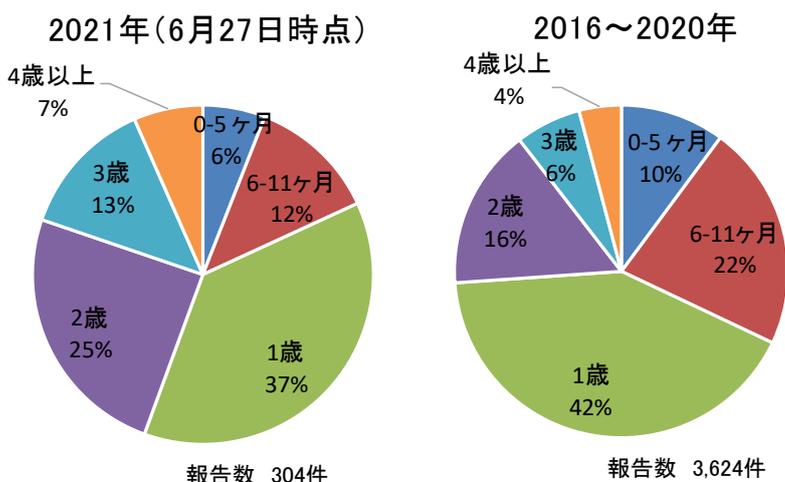
【累計報告数(6月27日現在)】 ※2020年からの累計報告数です。

10歳未満	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上	非公表	計
270	526	1,756	1,122	1,166	1,007	692	606	467	67	7,679

「風邪かな?」と感じたら、かかりつけ医や
コールセンター(積極ガードダイヤル)TEL:082-241-4566 に連絡・相談しましょう。

* 新型コロナウイルス感染症に関する最新の発生状況、相談窓口等については、広島市ホームページ「新型コロナウイルス感染症に関する情報(<https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/korona/>)」からご確認ください。

【参考】広島市におけるRSウイルス感染症の年齢階層別報告割合



RSウイルス感染症は、例年夏の終わりから秋に増加していましたが、2020年は全国的に流行がみられず、今年は5月から急増しています。

広島市における年齢階層別報告割合では、過去5年間(2016～2020年)と比べると、1歳未満の割合が減少し、2歳から3歳の割合が増加しています。国立感染症研究所によると、全国でも同様の傾向がみられています。

【参考】

IDWR 2021年第23号<注目すべき感染症> 直近の新型コロナウイルス感染症およびRSウイルス感染症の状況(国立感染症研究所)

<https://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ka/coronavirus/2019-ncov/2487-idsc/idwr-topic/10470-idwrc-2123c.html>

本週報は、速報性を重視していますので、今後調査などの結果に応じて若干の変更が生じることがあります。なお、感染症情報の詳細についてはホームページでご覧いただけます。

URL <https://www.city.hiroshima.lg.jp/site/infectious-disease/>

【問い合わせ先】

広島市感染症情報センター/広島市衛生研究所 〒733-8650 広島市西区商工センター四丁目1番2号
TEL (082) 277-6575 FAX (082) 277-5666 E-Mail ei-seikatsu@city.hiroshima.lg.jp